

三泗構想区域における病床機能再編支援事業 の活用希望について

「病床機能再編支援事業補助金」の対象医療機関

病床機能再編支援事業（単独支援給付金）について

- 病床機能再編支援事業（単独支援給付金）については、支給にあたって、地域医療構想の実現に向けて必要な病床機能の再編であるかどうかを地域医療構想調整会議で協議することが求められています。
- 令和3年度病床機能再編支援事業の支給対象について募集を行ったところ、三泗構想区域において、支給を希望する医療機関があったため、当該医療機関による病床機能再編に係る取組の内容が地域医療構想の実現に必要なものかどうか、地域医療構想との整合性について協議します。

病床機能再編の内容

医療機関名 おばたレディースクリニック
所在地 四日市市川島町町6842番地1
再編完了時期 令和3年12月31日（予定）
病床機能再編の理由

病床機能再編による医療機能別病床数の変更内容

再編前（平成30年度病床機能報告）	再編後	減少病床数
急性期 18床	急性期 14床	急性期 4床

当院は、産婦人科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する医療を担ってきたが、近年、分娩数が減少してきており、今後も人口減少による医療ニーズが低下していくことを考慮し、病床の一部を減少することとした。

地域医療構想との整合性について

令和元年度にとりまとめた「三泗構想区域の2025年に向けた具体的対応方針」において、将来の必要病床数と比較して、三泗構想区域の病床総数が過剰であり、全体的なスケールダウンが必要な状況となっていることをふまえると、県としては、今回の病床削減は、三泗区域地域医療構想との整合性が確保できるものであり、給付金の支給対象となると考えます。